



たんぽぽぐみだより

2018年 5月 第1号

さわやかな5月。吹く風を心地よく感じられるようになってきました。「おはよう」と声をかけると、ニコッと笑って元気に登園出来るようになり、毎日元気いっぱい遊んでいます。これからいろいろな遊びを通して、成長していく子ども達と共に、笑顔溢れる楽しい保育を進めていきたいと思ひます。



読書家な子ども達？！



絵本に興味を持ち始めている子ども達。室内で遊んでいると、絵本が入っている箱の中から絵本を取り出し、広げています。まだ「読む」というよりは「見る」という様子ですが、集中して見えています。また、年齢的に何かを破くのが楽しかったり、口にに入れてしまいがちですが、その姿はあまりなく興味を持って見ているので、本当に読書家なのではないかと思ってしまうほどです。男の子は乗り物が載っている絵本、食べることが好きな子は食べ物載っている絵本、虫が苦手なのにあえて昆虫図鑑を見たりなど興味を持ち方もそれぞれで、見ていてとてもおもしろいです。気になった物が出てくると、「ん？（これは？）」と言って指をさしながら聞いてくる姿も見られます。

これからも、さまざまな絵本や紙芝居に触れ、子ども達の想像力や発想力を豊かにしていきたいと思ひます。

自我が芽生える1歳児

今年のたんぽぽぐみは、男の子8名、女の子5名でスタートし、4月中旬に男の子1名が入園し、14名になりました。つくしぐみから進級した子ども達は、すぐに新しい部屋や担任に慣れ、戸惑うこともなく過ごすことが出来ました。新しく入園した子ども達は、保護者の方から離れられず泣き、慣れないところでの不安があり泣き…と毎日相当な体力を使っていたことと思ひます。1ヶ月が経ち、元気いっぱい笑顔いっぱいの毎日を過ごせるようになりました。

1歳児の1年は、「じぶんでやる！」という自我が芽生え始め、なんでも自分でやりたがります。ですが、まだまだ出来ないことや思い通りにならないことがたくさんあるので、怒って泣いたり、ひっくり返って騒いだりする姿も見られます。その反面、「やって」と甘えてくるときもあり、なかなか難しい時期です。また、月齢が大きく現れます。さまざまな子ども達が一緒に過ごし、刺激し合い大きく成長していくことが今からとても楽しみです。1年間を通して、笑顔がたくさん溢れて、優しい気持ち・思いやりのある心が育つよう、又、たくさん身体を動かして「丈夫な体づくり」が出来るよう毎日楽しく保育をしていきたいと思ひます。

- ☆トイレトレーニング…7月頃から月齢や子ども達の状況を見ておまるに座る練習をしていきます。
- ☆歯みがき…秋ごろから始める予定です。

ご家庭でも、関わりの中で難しさを感じることもあるかもしれませんが、褒められることが大好きでなによりも力となる子ども達です。嬉しかったことや、心配なこと、不安なことなどを保護者の方々と共感し合いながら子どもたちを見守ってあげたら嬉しいです。

